

平成20年度 新聞記事等一覧 (10月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
1	10月1日	広報ふちゅう	5面 講座・講習 自然環境講演会 「府中市の生きものと環境」	自然環境講演会案内。 「府中市の生きものと環境」において東京農工大学亀山教授が講師を務める。	農学府 亀山 章 教授
2	10月1日	広報ふちゅう	5面 ひろば 東京農工大学OB管弦楽団演奏会	東京農工大学OB管弦楽団演奏会の案内を掲載。	
3	10月1日	広報ふちゅう	6面 ふるさと再発見 見る 東京農工大学農学部本館 (国登録有形文化財)	「東京文化財ウィーク(10/1～11/30)」にちなみ、東京農工大学農学部本館(国登録有形文化財)を紹介。	
4	10月1日	朝日新聞(夕刊)	4面 富士山は日本一の観測塔 測候所 研究拠点へ道半ば	大気化学の研究者にとって高所であり独立峰でもある富士山山頂は魅力的であり、そこにある測候所で活動する大気化学のチームに東京農工大学が加わっていると紹介。	農学府 農学府 島山 史郎 教授 片山 葉子 教授
5	10月1日	日本経済新聞(夕刊)	5面 ニュースな人ヒト 米医学界最高のラスカー賞受賞 先駆的業績いま輝く	血中コレステロール値を下げる物質「スタチン」の発見により、米医学界で最も権威あるアルバート・ラスカー医学賞を受賞した、東京農工大学遠藤特別栄誉教授を紹介。	遠藤 章 特別栄誉教授
6	10月1日	someone Vol.06	p15 新しい発想を世の中に送り出したい	東京農工大学普後教授は養蚕について研究し、カイコの蛹(さなぎ)の有効利用の方法を探り、ユニークな発想で食用開発も研究していると紹介。	農学府 普後 一 教授
7	10月2日	毎日新聞	12面 スタチン発見で遠藤章氏にラスカー賞 画期的なコレステロール低下薬 心臓発作の発症抑制 副作用少なく 脳卒中にも効果	血液中のコレステロール値が高くなる高脂血症の治療薬として注目され、全世界で約3000万人が服用するスタチンを発見した東京農工大学遠藤特別栄誉教授へ、9月末にラスカー賞が贈られたことおよび東京農工大学遠藤特別栄誉教授のコメントを掲載。	遠藤 章 特別栄誉教授
8	10月2日	朝日新聞(夕刊)	2面 ノーベル賞候補 審良氏の名も トムソン・ロイターが予測	米国のトムソン・ロイター社がノーベル賞の有力候補を発表したが、ラスカー賞受賞者である東京農工大学遠藤特別栄誉教授は候補にあがらなかったことを紹介。	遠藤 章 特別栄誉教授
9	10月3日	朝日新聞	25面 出るか日本人受賞者 ノーベル賞 来週発表 ラスカー賞など指標に 二分野ほぼ互角に 対象広く手法にも光	ノーベル賞医学生理学賞の有力候補として、ラスカー賞および日本国際賞を受賞している東京農工大学遠藤特別栄誉教授を紹介。	遠藤 章 特別栄誉教授
10	10月3日	読売新聞	2面 ノーベル賞有力候補に審良氏 「自然免疫」仕組み解明 米科学技術情報社が発表	米国のトムソン・ロイター社がノーベル賞の有力候補を発表したが、米国で最も権威のある医学賞「ラスカー賞」受賞者である東京農工大学遠藤特別栄誉教授は候補にあがらなかったことを紹介。	遠藤 章 特別栄誉教授
11	10月3日	読売新聞 (地域多摩版)	32面 循環社会目指し講演	特別講演会案内。 東京農工大学で開催される特別講演会「循環型社会をめざして-暮らしにプライドをとりもどす-」の案内。	枝元 なほみ 氏 (特別講演会講師)
12	10月3日	日刊工業新聞	26面 地域の技術力で環境保全 TAMA協が支援事業 排出量取引など調査	TAMA協会(古川会長)は地元企業の技術力を環境問題の解決に活用し、地域経済の活性化に結びつける支援事業として、産学官と金融機関で組織する委員会を設置し、東京農工大学教授らが委員会のメンバーに加わると紹介。	技術経営研究科 古川 勇二 特任教授
13	10月3日	エフエム多摩	G-WIND LIVE Afternoon	東京農工大学小野広報・国際担当副学長が東京農工大学で開催される特別講演会「循環型社会をめざして-暮らしにプライドをとりもどす-」について紹介。	副学長 小野 隆彦 副学長 枝元 なほみ 氏 (特別講演会講師)
14	10月4日	毎日新聞	23面 訃報	東京農工大学池田章名誉教授(繊維工学専攻)が死去。	池田 章 名誉教授

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
15	10月5日	朝日新聞(第2部)	5面 進学特集 ブランドランキング どの大学選ぶ?	㈱リクルートが09年3月卒業予定の高校生を対象として行った調査の大学ブランドランキングにおいて、東京農工大学が「のんびり」の項目で関東エリアの大学で4位にランキング。	
16	10月6日	日刊工業新聞	20面 レーザー 合わせ技術で展開	微生物による土壌浄化の分析・サービスの大学発ベンチャーであるページサイエンス㈱の取締役を務める東京農工大学養王田教授が、自社の特徴を「異業種融合の“合わせ技術”で展開すること」と述べたコメントを掲載。	工学府 養王田 正文 教授
17	10月6日	日刊工業新聞	31面 未来思考 経営戦略24 「夢」実現する強いリーダー求む	東京農工大学林教授が、麻生総理の所信表明で語られた日本の科学技術への信頼と、今後の躍進への期待を題材にし、来る解散総選挙で政界が再び編まれた暁には、アポロ計画のような目に見える、わかりやすい「夢」を掲げ、それを確実に実現する強いリーダーと希望ある社会を求めたいと解説したコラム。	技術経営研究科 林 志行 教授
18	10月6日	日刊工業新聞	32面 ゼミナール 高度人材育成の現状と課題 ① 大学院編～理工系人材に経営の発想を 特徴あるビジネススクール 企業内大学と連携も	東京農工大学林教授が高度人材育成に関する企業側の状況と比較して、大学院側の現状を解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
19	10月6日	日本テレビ	Oha! 4 NEWS LIVE	「JDのハテナ?研究所」のコーナーで、東京農工大学荻原教授が「野菜と果物の違い」について、農学的に定義すると木になっている実のこを果物、草からできる実を野菜として扱うと解説。	農学府 荻原 勲 教授
20	10月7日	日刊工業新聞	27面 進む教育改革 文科省プログラム 採択 校にみる 61 東京農工大学 科学立国人材育成プログラム 修士2年から博士育成 産業で即戦力化 にらむ	東京農工大学の大学院GP「科学立国人材育成プログラム」並びに独自経済支援制度「JIRITSU」について紹介。	工学府 直井 勝彦 教授
21	10月7日	日刊工業新聞	27面 変革期の大学発ベンチャー 日本型確立へ 1 第2部 サポーターの助言 IPOで近く大学も収入 ユーザー・異分野と組み M&A・上場 両にらみ	数年にわたり東京農工大学を支援する新日本監査法人江戸川氏が、大学発ベンチャーが04年国立大学法人化前後のブームに対し、ここ数年は厳しい状況にあることを踏まえて、将来像について解説。	
22	10月9日	日経産業新聞 (日経テレコン21)	19面 2008年度技術トレンド調査(第3回) 磁気記録、高密度化を実現 中核事業の競争力向上へ 発電効率高い 太陽電池も	日本経済新聞社が公表した「2008年度技術トレンド調査」において総合4位となったパナソニック電工の次世代照明技術が、東京農工大学越田教授が研究している「ナノシリコン電子源」を利用したと紹介。	工学府 越田 信義 教授
23	10月10日	日刊工業新聞	16面 受講者募集! 出版記念特別セミナー 究極の粉の作り方と使い方	日刊工業新聞社主催の「出版記念特別セミナー 究極の粉の作り方と使い方」において、東京農工大学神谷教授が「バラつきのない粉をつくる/ナノ粒子を完全分散させる」と題した講義の講師を務める。	生物システム応用 科学府 神谷 秀博 教授
24	10月10日	日経産業新聞 (日経テレコン21)	20面 ノーベル賞 連日の快挙 「次こそ医学賞」注目の2人 応用研究分野も厚く	血中コレステロール値を引き下げる物質「スタチン」を発見した東京農工大学遠藤特別荣誉教授は、今回ノーベル賞受賞とならなかったが、次年度以降の有力候補者として紹介。	遠藤 章 特別荣誉教授
25	10月11日	読売新聞 (地域・多摩版)	32面 キノコの山	東京農工大学や農林総合研究センターに、都立農業高校で見つかった巨大なキノコについて問い合わせがあり、ニオウシメジ(キシメジ科)であることが判明したと紹介。	
26	10月11日	広報ふちゅう	4面 講座・講習 府中の教育を語る会 「理科教育の充実」	府中の教育を語る会「理科教育の充実」案内。 東京農工大学普後教授が、中学生科学教室参加者による研究発表、サイエンスショー「科学のおもしろさ」、パネル討論に出演すると紹介。	農学府 普後 一 教授
27	10月11日	広報ふちゅう	4面 官公庁から 東京農工大学子ども科学教室	「東京農工大学子ども科学教室」案内。 東京農工大学荻野教授が「偏光フィルムで遊んでみよう」の講師を務めると紹介。	生物システム応用 科学府 荻野 賢司 教授

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)内容	掲載関係者・部局等
28	10月13日	日刊工業新聞	19面 未来思考 経営戦略25 怪物・清原が見せた「背中」	東京農工大学林教授が、清原和博選手の引退を例に、大人が背中を見せる(先輩が後輩にDNAを引き継ぐ)瞬間を解説したコラム。	技術経営研究科 林 志行 教授
29	10月17日	朝日新聞	25面 未来の受賞者 育ってる？ ノーベル賞 若手支援へ環境整備 ポスドク将来見えず	東京農工大学の「テニユア・トラック」制度で選ばれた22人のうちの1人である、東京農工大学畠山特任准教授の紹介とコメント、および、東京農工大学柴田若手研究支援室長のコメントが掲載。	若手人材育成拠点 柴田 治呂 若手研究支援室長 畠山 温 特任准教授
30	10月17日	長崎新聞	1面・26面 全国棚田サミット開幕 中山間地域活性探る 「大中尾」「清水」など見学 生産、交流の場 機能再認識	東京農工大学千賀教授が長崎市で開催した「第十四回全国棚田(千枚田)サミット」で、大会テーマと同じ「みんなで語ろう、棚田の未来」と題した基調講演を行ったことの紹介。	農学府 千賀 裕太郎 教授
31	10月18日	読売新聞 (Y&Y進学特集)	5面 キャンパス情報 東京農工大学(東京都府中市)	東京農工大学で誕生した世界最小の馬「アメリカミニチュアホース」の雌の子馬が「アップルパイ」と命名され、放牧場を元気に駆け回ったり、跳びはねたりする姿が地域住民の人気になっていることの紹介と、東京農工大学田谷教授のコメントが掲載。	農学府 田谷 一善 教授
32	10月20日	日刊工業新聞	27面 未来思考 経営戦略26 ノーベル賞で証明、日本の底力	東京農工大学林教授が、今回のノーベル賞受賞者の発明や発見は30年以上も前の話であり、現在進行中の研究開発の成果は今後20～30年後に評価されることにおいて、論文が世界的な競争の中で注目されるためのマーケティングが必要だと解説。	技術経営研究科 林 志行 教授
33	10月21日	朝日新聞	9面 歴史を歩く カブール大学(アフガニスタン) 研究断絶 再生の道険し	東京農工大学と学術交流協定を結ぶアフガニスタンのカブール大学は、旧ソ連の侵攻や、内戦、タリバーン支配などの影響から再生が険しいが、その状況下で復興に取り組む、東京農工大学で博士号を取得した、カブール大学教員らのコメントを掲載。	農学府 岐阜大学大学院連 合獣医学研究科 アミルジャン・サイディ氏 (卒業生) サイド・シャー氏 (卒業生)
34	10月21日	日刊工業新聞	24面 動物医療センター完成 建設費、銀行借入れ 東京農工大 収入を償還財源に	国立大学は05年末の国立大学法人法施行令の改正で、一定の収入が見込める施設について、民間金融機関から長期借入れをして建設できることになり、東京農工大学がこの制度を活用した第1号として、動物医療センターの建設と旧施設の改修を終えたと掲載。	
35	10月23日	日本経済新聞(夕刊)	9面 波頭旗頭 太陽電池 開発に挑む	東京農工大学黒川名誉教授(再生可能エネルギー協議会代表)が、新エネルギー・産業技術総合開発機構検討委員会の委員長として、日本の太陽電池技術の中期的開発計画を作成する重責を担うことの紹介と、2030年の太陽電池導入量の目標についてのコメントが掲載。	黒川 浩助 名誉教授
36	10月24日	日刊工業新聞	23面 激変TLO(注) スタートから10年 荒波乗り越え存在感確立 成功事例あとう歩 社会に示せるのも間近	国の承認TLO(47機関)の分布表内で、農工大ティー・エル・オー(株)の主な提携大学として東京農工大学が掲載。	
37	10月25日	フジテレビ	脳内エステ IQサプリ	アドベンチャーサプリの「超カワイミニチュア動物たち!!」と題したコーナーで、アメリカン・ミニチュア・ホースの「シナモン」および8月に生まれた「アップルパイ」が出演。	
38	10月26日	NHK教育	日曜フォーラム 「新“地産地消”の試み～安全な食と豊かな環境を求めて～」	「新“地産地消”の試み～安全な食と豊かな環境を求めて～」と題したパネルディスカッションに東京農工大学千賀教授が出演。	農学府 千賀 裕太郎 教授
39	10月27日	日経産業新聞 (日経テレコン21)	11面 カイコで蛍光色の糸 農生研など 遺伝子組み換えで	農業生物資源研究所が東京農工大学らと共同で、遺伝子組み換えカイコを使い、緑色や赤色の蛍光を出す絹糸や、従来より一割程度細い絹糸、細胞接着性の高い絹糸由来の繊維などを開発し、五年以内の実用化を目指すと紹介。	
40	10月27日	日刊工業新聞	27面 未来思考 経営戦略27 国内回帰、マネジメントで明暗	東京農工大学林教授が、現在の経済危機の状況で、独立するにせよ企業内で頑張るにせよ、SBU(戦略的ビジネス単位)を意識し、最小人員でビジネスを回せるチームマネジメントを目指すべきと解説したコラム。	技術経営研究科 林 志行 教授

追加記事等

No.	掲載年月日	媒体名		記事(番組)表題	記事(番組)内容		掲載関係者・部局等
1	7月9日	The Japan Times Online		Matsushita develops new lighting device	東京農工大学越田教授と松下電工㈱の共同研究成果について掲載。	工学府	越田 信義 教授
2	9月27日	TBS		TBS News i ラスカー賞受賞、遠藤教授が喜び語る	アメリカで最も権威のある医学賞「ラスカー賞」の授賞式がニューヨークで行われ、東京農工大学遠藤名誉教授が10年ぶりに日本人として選ばれた。		遠藤 章 特別栄誉教授
3	9月27日	読売新聞(夕刊)	14面	ラスカー賞授賞式	米国で最も権威ある医学賞といわれるラスカー賞の授賞式が行われ、コレステロール値を下げる物質「スタチン」を発見した東京農工大学遠藤特別栄誉教授に、臨床医学部門の賞が贈られた。		遠藤 章 特別栄誉教授
4	9月28日	読売新聞	19～22面	工学フォーラム2008in札幌 ～環境問題のsolutionと工学の果たす役割～	環境問題の解決と工学の果たす役割について考える「工学フォーラム2008」開催の記事内で、東京農工大学工学部を紹介。	工学部	
5	9月29日	日刊工業新聞	35面	未来思考 経営戦略23 競争本格化にらむ「世界の工場」	東京農工大学大学院MOTの教員と社会人学生、院生らでオリンピックを経験した中国のものづくりの方向性を探る旅を行ったことのコラム。	技術経営研究科	林 志行 教授
6	9月29日	日刊工業新聞	36面	ゼミナール 高度人材育成の現状と課題④ 企業編～スキルアップへ支援手厚く 企業とビジネススクール ミスマッチ改善 不可欠	中国が米国と肩を並べる超大国へと変貌する中、日本が引き続き世界経済において存在感を示すためにはどうすべきかについて、東京農工大学林教授の解説が掲載。	技術経営研究科	林 志行 教授
7	9月30日	日本経済新聞	7面	衆参両院の新委員長	衆参両院の新任委員長が発表され、衆院災害対策特別委員長に、東京農工大学卒業生の林田氏が選任された。	農学部	林田 彪 氏 (卒業生)
8	9月30日	日刊工業新聞	33面	大学の知財・産学官連携⑤ 知財の質を追求 波及効果に知恵 院生・自治体職員活用も	文部科学省・知的財産本部整備事業の事後評価では、活動項目別の各大学の取り組みを挙げており、その中で東京農工大学は外部資金獲得金額に応じ、教員・研究室に還元していると紹介。		